

ロシアによるウクライナへの侵攻の即時中止を求めます

2022年3月8日
東京保健生活協同組合
理事長 根岸京田

私たちは、医療や介護に携わる者として、地域の健康づくりに取り組む組織として、命を脅かし、日々の暮らしを奪い、多くの犠牲をうむロシア軍の侵攻に強く抗議します。

2月24日のロシア軍によるウクライナ侵攻から10日が経ちました。民間人の死者は既に2千人を超え、日常の生活を追われて避難している国民も150万人に上ると言われています。

また、プーチン大統領はロシアが核兵器大国であることを誇示し、世界を威嚇する発言をしています。万が一にも核兵器が使用されれば、地球と人類全体に壊滅的影響をあたえることは明白で、唯一の被爆国の市民として到底容認できるものではありません。更にロシアは3月4日、ウクライナ南部にあるヨーロッパ最大級の原発の関連施設への砲撃を行い施設の一部を破壊しました。放射性物質が外に漏れ出せば多くの人の命を危険にさらし、世界規模の大惨事につながり、人類の生存を脅かす犯罪行為です。

国連総会でロシアの即時撤退を求める決議案が参加国の圧倒的多数で採択されました。この暴挙に対して、世界中から「NO WAR」「侵略を止め、国連憲章を守れ」の声が上がっています。ロシア国内でも反戦の声は日増しに大きくなり、各地で抗議デモが行われています。

戦争は最悪で最大の人為的な健康障害要因です。私たちは、人々のいのちと健康を守るために日々働いています。そのいのちと健康を破壊し、人権を踏みにじる一番愚かな行為が戦争です。暴力からは何も生み出されません。

一刻も早い戦争終結に向けて、平和を願う世界の市民の行動と連帯し声を上げていきましょう。

以上